

広瀬用水（広瀬川）

—群馬県前橋市—

東京大学大学院農学生命科学研究科 木村 匡 臣

1. はじめに

「廣瀬川白く流れたり
時さればみな幻想は消えゆかん。
われの生涯を釣らんとして
過去の日川邊に糸をたれしが
ああかの幸福は遠くにすぎさり
ちひさき魚は眼にもとまらず。」¹⁾

本誌表紙写真の撮影地である現在の前橋市千代田町の生まれで、口語自由詩を確立し「日本近代詩の父」と呼ばれる詩人萩原朔太郎（写真-1）は、広瀬川をこのように詠んでいる。広瀬川は群馬県渋川市で利根川から分かれ、前橋市、伊勢崎市を流れてふたたび利根川に合流する一級河川で、疏水百選にも選ばれている。以下ではこの広瀬川の歴史と、前橋の産業・文化との関わりについて概説する。

2. 広瀬桃木両用水の概要²⁾⁻⁴⁾

かつての利根川の本流は、前橋付近では現在の広瀬川や桃ノ木川の川筋を流れていたが、16世紀半ばの大氾濫により西側へ流路が変遷した。これにより現れた氾濫原を耕地とするため、旧河道を利用し、現渋川市北橋町に桃木堰、現前橋市関根町に広瀬堰を設けて利根川から取水するようになったのが広瀬桃木両用水（広桃用水）の始まりである。両堰はその後、領主から前橋城主の管理下へ移り、明治15年に広瀬桃木両堰水利土功会が設立、明治25年に広瀬桃木両堰普通水利組合、昭和27年に広瀬桃木両用水土地改良区へと

組織変更した。

利根川より取水された広桃用水は、前橋市北部の制水門で広瀬用水と桃ノ木用水に分水され、広瀬用水は前橋市街を南に流れる広瀬川（写真-2）を、桃ノ木用水はその東部を南に下り、前橋市の南部で合流する。

昭和22年のカスリーン台風の影響により、かつての広桃用水の取水施設が崩壊したことを受け、同様の被害を受けていた対岸を流れる天狗岩用水と昭和23年に坂東大堰普通水利組合連合を結び、共同取水口が設置されることとなる。昭和26年に坂東大堰合口土地改良事業が完了し、坂東大堰（写真-3）で利根川より取水された水は隧道内で広桃用水と天狗岩用水（写真-4）に分岐し、天狗岩用水は利根川の下を暗渠で横断して右岸側の農地へ導水されるようになった。

ちなみに、天狗岩用水というユニークな名前の由来



写真-2 前橋の街中を流れる広瀬川



写真-1 前橋文学館の前で広瀬川に向かいたたずむ萩原朔太郎の像



写真-3 坂東大堰（中央奥に取水口が見える）



写真-4 天狗岩用水幹線水路（奥は榛名連峰）



写真-5 広瀬川河畔緑地の詩碑（月夜）

は、1600年代の初めに総社領主秋元長朝により越中堀が開削される際に、取水口付近の巨大な岩を忽然と現れた山伏が動かしてくれたという言い伝えに由来するそうである⁵⁾。

その後、堆砂の影響により取水量が不安定になり、堰の維持管理に多大な労力と経費が必要となったため、昭和42年に完成した上流の佐久発電所からの放水を隧道内に合流させて用水として利用するようになった。現在でも坂東大堰合口は予備の取水口としての機能を有している。

今では広桃用水、天狗岩用水ともに、小水力発電や親水公園、廃水の浄化などの地域用水としても多面的に利用され、地域住民に親しまれている。

3. 産業・文化との関わり⁶⁾

広瀬川は江戸時代には比刀根川とも呼ばれ、利根川の水を利用した灌漑のほかにも、舟運や前橋城下の生活用水や防火用水として用いられた。明治、大正時代には、水車、製糸、発電、養魚にも利用されるようになり、前橋の発展を支えてきた。

本誌表紙写真の堰は「交水堰」と呼ばれるもので、その名は明治から昭和にかけてこの下流の地にあった製糸工場「交水社」に由来する。堰の案内板によれば、江戸時代はこの近辺に水運のための「広瀬河岸」があり、後に水利のための「十五本堰」が設けられた。製糸業が大発展した明治時代には、水車や工業用水に利用され、大正時代に現在の形に改修されたそうだ。冒頭の詩の「広瀬川白く流れたり」の解釈は、この堰を越えて流下する流れを詠んだとするほかに、繭を煮た後の白濁した煮汁が製糸工場から流入していたためとする説もあるようである。

現在では、上毛線中央前橋駅周辺が広瀬川河畔緑地として整備されており、遊歩道沿いには詩碑（写真-5）やモニメントが配置されている。夜間のライトアップや冬季のイルミネーションなどのイベントも人

気ようである。

4. おわりに

広瀬川の登場する朔太郎の作品は、冒頭の「広瀬川」のほかにもある。

「物みなは歳日と共に亡び行く。
ひとり来てさまよへば
流れも速き廣瀬川。
何かにせかれて止むべき
憂いのみ永く残りて
わが情熱の日も暮れ行けり。』⁷⁾

郷愁の想いを表した作品と、市のシンボルである広瀬川は、これからも減ぶことなく「水と緑と詩のまち」前橋の人々に親しまれつづけるだろう。

参考文献

- 1) 萩原朔太郎：純情小曲集，青空文庫，http://www.aozora.gr.jp/cards/000067/files/1788_18740.html（参照2016.8.15）
- 2) 水土里ネット広桃用水：広瀬桃木両用水の歴史，http://www.koutou-t.jp/menu1_4.html（参照2016.8.15）
- 3) 水土里ネット広桃用水：完了事業報告（昭和23年度～平成20年度），http://www.koutou-t.jp/menu3_2_1.html（参照2016.8.15）
- 4) 全国水土里ネット：水土里デジタルアーカイブス詳細（広瀬桃木両用水地区），<http://www.inakajin.or.jp/jigyuu/tabid/264/Default.aspx?itemid=391&dispmid=601>（参照2016.8.15）
- 5) 関東農政局：天狗岩用水（てんぐいわようすい）（群馬県前橋市総社町），http://www.maff.go.jp/kanto/nousin/sekkei/kokuei/toncho/rekishi/02_6.html（参照2016.8.15）
- 6) 農林水産省：疏水百選・広瀬用水（広瀬川）（群馬県），<http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/midori/m-walk/course3/027hir/index.html>（参照2016.8.15）
- 7) 萩原朔太郎：宿命，青空文庫，<http://www.aozora.gr.jp/cards/000067/files/1790.html>（参照2016.8.15）